

110周年事業（比較文化学部）

ニュースレター 第2号

駐日欧州連合代表部による講演会を開催

比較文化学部が企画する110周年事業「大使館リレートーク」企画の第一弾として、5月7日（月）、駐日欧州連合代表部のフランチェスコ・フィニ公使／副代表をお招きして、「ヨーロッパ文化研究 BI（政治と経済）」の授業で講演をしていただきました。



伊藤学長による冒頭あいさつ



フィニ公使による講演の様子

「The EU in the World and EU-Japan Relations」と題した講演では、まず、ヨーロッパ諸国のあいだで多様性を尊重しながら平和と繁栄そして安定を追求するEUの成り立ち・発展といった、EUの歴史についてのお話がありました。つづいて、EUの運営を支える諸機関の紹

介、EUの諸取り組み、移民・難民問題やイギリス離脱問題といった諸課題、EUの外交、EUと日本の関係など、多岐にわたるお話がありました。

（注）EU：「European Union（欧州連合）」の略称

講演には、EUを学んでいる「ヨーロッパ文化研究 BI」の履修者だけでなく、1年次開講科目「比較文化入門」を履修している学生、ポスターを見て参加申し込みをした学生など、たくさんの学生が参加しました。



たくさんのご参加、ありがとうございました

最後のギフト交換では、駐日欧州連合代表部からEUと日本の関係を模した達磨を贈呈いただき、会場からは大きな反応がありました。



贈呈いただいた達磨です

講演後は、教室から G 棟アクティブラウンジへと場所を移して、公使をはじめ関係者の方々そして学生有志が参加するコーヒータ임을開き、講演内容、ヨーロッパ情勢、ヨーロッパでの学びなどについてお話をさせていただきました。



コーヒータ임을での談話の様子



コーヒータ임을での談話の様子



コーヒータ임을終了時の集合写真

通訳の支援をうけながらも、ひとつのテーマについての講演を英語で聞いたこと、EU そして現代ヨーロッパにかかわるたくさんの知識と情報を得たこと、文化交流事業やさらなる学び・語学研鑽にかかわる機会を教えたいただいたことは、それぞれに少なからず刺激があったことと思います。

また、「大使館リレートーク」企画は、学生も準備や運営の一部を担うことによって、英語をはじめとする外国語を実際に使う機会を増やし、チームで運営を支える経験を積み、巷ではたったひとことで表現されがちな「おもてなし」に何が 필요한かを考えてもらうことも、企画の大切なねらいにしています。今回、当日までの準備、当日の運営に携わった学生のみなさんは、講演から刺激を受けるだけでなく、準備や運営の過程で得たことも多かったと思います。

今回うけた刺激をぜひ、それぞれの今後の学びや学生生活に活用してもらえれば幸いです。

最後になりましたが、この講演会開催にあたってご協力いただいた関係者のみなさまにお礼を申し上げます。

お知らせ

6 月には、7 日（木）にアイルランド大使館による講演会、20 日（水）に日独協会による講演会を開催予定です。近日中にポスター等を掲示しますので、関心のある方はぜひ参加申し込みをしてください。また、運営を経験したい学生は、井上（G 棟 6F 研究室）まで相談してください。

110 周年事業（比較文化学部）

ニューズレター 第 2 号

発行日：2018 年 5 月 21 日

発行者：井上 淳